



気高SGH通信

平成28年度文部科学省指定スーパーグローバルハイスクール



SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

No. 36 令和2年10月12日

海を素材とするグローバルリテラシー育成
～世界を舞台に活躍するスケールの大きな人材を目指して～

宮城県気仙沼高等学校

授業改善研修会～深い学びと「探究」を探究する～

10月1日(木)、國學院大學人間開発学部初等教育学科教授の田村学先生を講師にお迎えし、授業改善研修会～深い学びと「探究」を探究する～を実施しました。田村先生は文部科学省の教科調査官や視学官を歴任し、3年前から國學院大學で教鞭をとられています。

各教科や「総合的な探究の時間」で、生徒にどんな資質・能力を身につけようとしているのか、学習指導要領の改訂の読み解き方や、そこで語られる「主体的・対話的で深い学び」の意味、高校の教育課程におけるカリキュラム・マネジメントの方法など、田村先生が学校現場でインタビューしたさまざまな生徒たちの声や学びの事例を紹介していただくなど密度の濃いお話を頂きました。

限られた時間でしたが、盛りだくさんの内容に、参加した先生方は集中して耳を傾けていました。



1 学年「地域社会研究」フィールドワーク

10月7日(水)の5校時から7校時において、市内32の事業所等を対象に、1学年「地域社会研究」のフィールドワークを実施しました。気仙沼の海と産業・社会活動・文化・自然・災害の関連を中心に、生徒が興味・関心を持つ分野の専門家からお話を聞くことができました。生徒は初めての聞き取り調査で緊張している様子でしたが、現場で活躍されている方々に積極的に質問し、気仙沼の現状と今後について理解を深めて地域研究に対する刺激を大いに受けた様子でした。フィールドワークを受けて、自ら積極的に教員と相談し、アンケートや他の訪問先への聞き取り調査を検討し始めた生徒たちもみられています。

現在は11月11日(水)に開催される「地域社会研究」の中間発表会に向けて研究を進め、PowerPointを用いた発表資料作成など発表準備を行っています。

